



JAPAN OPERA FOUNDATION NEWS

JOF ニュース

日本オペラ振興会会報

No.

4



藤原歌劇団公演

[2008年8~9月]

ヴェルディ「ラ・トラヴィアータ」

「ラ・トラヴィアータ」指揮
ジュリアーノ・カレッラ



人気の名作を2本。万全の顔ぶれでお楽しみ下さい。

藤原歌劇団 公演監督 岡山廣幸

日本初演のオペラ『どろぼうかささぎ』が好評裡に幕を閉じ、会員のみなさま並びにお客様方に心から御礼申し上げます。初日にマエストロ・ゼッダが指揮棒を振り下ろし、小太鼓が連打を始めた時、期待と不安で鳥肌が立ちました。昨年の夏、ペザロで『どろぼうかささぎ』(ダミアーノ・ミキエレット演出)を見たときに、藤原でこれ以上のものができるのか? と本当に心配いたしましたが、指揮者・演出家・出演者一同とかささぎに恵まれ、とても良い公演であったと思います。終演後、ゼッダ先生に次のロッシーニ作品上演の時にもお願いしたい旨要望したところ『生きていればね』とおっしゃって、片目をつぶりました。

さて、次回の公演は世界で最も上演回数の多いオペラ、ヴェルディの名作『ラ・トラヴィアータ』です。藤原では新年恒例の出し物として公演してきましたが、今回2年ぶりに昨年4月に開場した新百合ヶ丘のテアトロ ジーリオ ショーワと上野の東京文化会館の2会場で公演いたします。

今回のヴィオレッタはイタリアの新進ソプラノ、ダニエラ・ブルエーラと、近年新しい役にも積極的に挑戦している出口正子の共演です。アルフレードは世界の第一線で活躍中のステファノ・セッコが2006年公演に続いて再登場、当団からは進境著しい若手小山陽二郎が初挑戦します。以下、ベテランから中堅・新人を交えた万全の顔ぶれです。

11月には、昨年1月に新制作で上演いたしました『ラ・ボエーム』を新百合ヶ丘のテアトロ ジーリオ ショーワで再演いたします。指揮は新星松下京介、演出岩田達宗、ミミを歌うのは海外でも当役を演じ好評を得ている野田ヒロ子と、昨年国内のコンクールで圧倒的な実力を見せ付けた新人廣田美穂を配しました。ロドルフォには、当たり役としている市原多朗と昨年、抜けるようなハイCを聞かせてくれた村上敏明です。今シーズンも藤原のオペラをご声援ください。

藤原歌劇団公演

[2008年11月]

プッチーニ「ラ・ボエーム」

「ラ・ボエーム」演出
岩田達宗



藤原歌劇団公演

平成20年度文化芸術振興費補助金（文化庁芸術創造活動重点支援事業）

ヴェルディ作曲 ラ・トラヴィアータ～椿姫～ オペラ3幕（字幕付き原語上演）公演監督／岡山廣幸

指揮／ジュリアーノ・カレッラ 演出／ベッペ・デ・トマージ

合唱：藤原歌劇団合唱部

管弦楽：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

バレエ：スターダンサーズ・バレエ団

2008年

8月26日(火)18:30・27日(水)15:00 テアトロ ジーリオ ショウワ

(小田急線新百合ヶ丘駅南口徒歩4分、昭和音楽大学南校舎キャンパス内)

特別席￥15,000 A￥12,000 B￥8,000 C￥5,000 D￥3,000

*但しD席のお取り扱いは日本オペラ振興会チケットセンターのみ

9月3日(水)・4日(木) 18:30 東京文化会館（JR上野駅公園口直前）

特別席￥18,000 A￥14,000 B￥9,000 C￥7,000 D￥5,000 E￥3,000

*但しE席は日本オペラ振興会チケットセンターではお取り扱いいたしません

各日とも開演の45分前から公演監督による作品解説があります。開場は開演の1時間前です。

主催：財団法人日本オペラ振興会 共催：学校法人東成学園（テアトロ ジーリオ ショウワ公演）

助成：財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団 後援：「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム

協賛：Pioneer

8/26・9/3

8/27・9/4

ヴィオレッタ

ダニエラ・ブルエーラ

出口正子

アルフレード

ステファノ・セッコ

小山陽二郎

ジエルモン

牧野正人

三浦克次

フローラ

森山京子

向野由美子

ガストン

小宮一浩

市川和彦

ドゥフォール

彭 康亮

若林 勉

ドビニー

柿沼伸美

須藤慎吾

グランヴィル

久保田真澄

東原貞彦

アンニーナ

家田紀子

竹村佳子

ジュゼッペ

梅原光洋

川久保博史

8/26・27

9/3・4

使者

大石洋史

堀内士功

召使

水野洋助

佐藤勝司

藤原歌劇団公演 プッチーニ生誕150周年記念

平成20年度文化芸術振興費補助金（文化庁芸術創造活動重点支援事業）

プッチーニ作曲 ラ・ボエーム オペラ4幕（字幕付き原語上演）公演監督／岡山廣幸

指揮／松下京介 演出／岩田達宗

合唱：藤原歌劇団合唱部 児童合唱：多摩ファミリーシンガーズ

管弦楽：東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

2008年

11月28(金) 18:30／29日(土)・30日(日) 15:00

テアトロ ジーリオ ショウワ

(小田急線新百合ヶ丘駅南口徒歩4分、昭和音楽大学南校舎キャンパス内)

各日とも開演の45分前から公演監督による作品解説があります。開場は開演の1時間前です。

6月28日発売予定

特別席￥15,000 A￥12,000 B￥8,000 C￥5,000 D￥3,000

*但しD席のお取り扱いは日本オペラ振興会チケットセンターのみ

主催：財団法人日本オペラ振興会 共催：学校法人東成学園

後援：「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム 協賛：Pioneer

11/28・30

11/29

ミニ 野田ヒロ子

廣田美穂

ロドルフォ 市原多朗

村上敏明

ムゼッタ 佐藤美枝子

福田玲子

マルチェッロ 谷 友博

須藤慎吾

ショナール 柴山昌宣

森口賢二

コッリーネ 久保田真澄

若林 勉

ペノア 折江忠道

アルチンドロ 柿沼伸美

バルピニョール 望月光貴

第27回新人演奏会～日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第27期修了生による～

ピアノ：村上尊志、河原忠之

*出演者詳細は6ページ目の「2008年度新入団者」をご参照下さい。

2008年

6月21日(土) 14:00開演（13:30開場） 津田ホール（JR中央線・千駄ヶ谷駅前／都営大江戸線・国立競技場駅A4出口） 入場料￥2,500（全自由席）

主催：財団法人日本オペラ振興会

日本オペラ協会創立50周年記念演奏会～日本の歌曲とアリアによる～

監修／大賀 寛

●ソプラノ 井上百合子／大貫裕子／鎌田滋子／甲本順子／小林悦子／近藤光江／沢崎恵美／庄 智子／鈴木芳恵／高田由紀／高波礼子／高橋千恵子／田中純子／二見 忍 ●メゾ・ソプラノ 木下裕子／木村圭子／郡 愛子／須永尚子 ●テノール 古沢 泉 ●バリトン 佐藤光政／清水良一／中村 靖／仁科岡彦／捻金正雄／三浦克次 ●ピアノ 大野美智子

2008年

6月14日(土) 13:30開演（13:00開場）

津田ホール（JR中央線・千駄ヶ谷駅前／都営大江戸線・国立競技場駅A4出口）

入場料￥5,000（全自由席）

主催：財団法人日本オペラ振興会

【曲目】「歩こうよ」[朝岡真木子]／「私に全てを任せれば」（歌劇「死神」より）

「風の子守唄」[池辺晋一郎]／「オオカミの大しくじり」[猪木 隆]／「風をみたひと」「重いのはなあに?」「へびとりのうた」[木下牧子]／「啄木鳥」

「小林秀雄」／「くちなし」[高田三郎]／「小さな空」[武満 徹]／「紫陽花」[園伊玖磨]／「むこう むこう」「霧と話した」「サルビア」「歌をください」[中田喜直]／「あらざらん」[畠中良輔]／「蟻」[平井康三郎]／「帝の寵愛」（歌劇「かぐや姫」より）[平井秀明]／「春は華やぐ花の宴に」（歌劇「葵上」より）[別宮貞雄]

「愛の旅立ち」（歌劇「静と義経」より）「佐助は嬉しうございます」（歌劇「春琴抄」より）[三木 稔]／「ほおずき」[三善 晃]／「君がため織る綾錦」「たたえよ、しらべよ、歌ひつれよ」「みぞれに寄する愛のうた」「中国地方の子守唄」[山田耕作]／「よしきり」「魅惑のワルツ」[湯山 昭]／ほか



移転のためチケットセンターの電話番号が変わりました

お問い合わせ 日本オペラ振興会チケットセンター 03-6407-4333 オンライン予約 <http://www.jof.or.jp>

●おもなキャスト

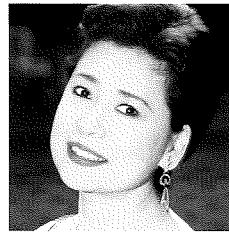
ダニエラ・ブルエーラ(ソプラノ) ●ヴィオレッタ

イタリア・カリアリ生まれ。1990年、As.Li.Co.コンクールで優勝し、ヴィヴァルディ「勝利のユディタ」でデビュー。ミラノ、ヴェネツィア、トリノ、バルマなどイタリア各地の歌劇場や、ベルリン国立歌劇場、ベルリン、ドイツ・オペラ、リスボン・サンカルロス劇場など、世界的な劇場で急速にキャリアを伸ばしている。これまでに「コジ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「ツァイード」「ブルスキーノ氏」「ランスへの旅」「ドン・バスケワーレ」「リゴレット」「ファルスタッフ」「つばめ」「ラ・ボエーム」「薔薇の騎士」「ナクソス島のアリアドネ」などのオペラに出演。1992年初来日。昨秋はコンサートで来日している。



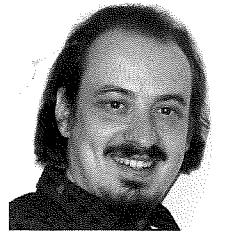
出口正子(ソプラノ) ●ヴィオレッタ

国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。第10回日伊声楽コンクール、第43回日本音楽コンクール第1位。その後、スカラ座研究所で研鑽を積む。1981年ミラノのアトロ・ナツイオナーレの「ルチア」でオペラ・デビュー。翌年リッチャレッリとダブルキャストで出演したクレモナの「ラ・トラヴィアータ」で成功を収め、その後もイタリア各地で活躍の一一方、87年藤原歌劇団「ルチア」で日本に衝撃デビュー。以後一時帰国して、藤原歌劇団で、ヴィオレッタをはじめ、「リゴレット」「清教徒」「夢遊病の女」「ルチア」「愛の妙薬」「カルメン」「ラ・ボエーム」「アドリアーナ・ルクヴルール」など数々のオペラで絶賛を博す。藤原歌劇団団員。



ステファノ・セッコ(テノール) ●アルフレード

1970年ミラノ生まれ。サッサリのヴェルディ劇場「ファルスタッフ」のフェントン、続いてローマ歌劇場「ラ・ボエーム」のロドルフォで絶賛を博す。さらにパルマの「ラ・ボエーム」、トリノの「リゴレット」などイタリアの主要劇場へ進出。2004年はウィーン国立歌劇場に「ロベルト・デ・リュー」でデビュー、イタリア各地はもとより、パリやウィーンで活躍を続けている。今年もパリのバстиーユ・オペラで「ドン・カルロ」に出演。97年初来日。98年に藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」で日本にオペラ・デビュー、2006年にも来日し「ラ・トラヴィアータ」で藤原歌劇団本公演デビュー。ベルカント・オペラ得意とし、イタリアの正統派テノールとして最も注目されているリック・テノール。



小山陽二郎(テノール) ●アルフレード

愛知県立芸術大学卒業、同大学大学院修了、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第12期生修了。1994年ミラノに留学。ブダペストなど数々の国際声楽コンクールに入賞し、イタリア各地で「愛の妙薬」「セビリアの理髪師」など数々のオペラに出演。97~99年はハンガリー国立歌劇場メンバーとして、「ファルスタッフ」「ラ・チエレントラ」「ルチア」などで活躍。99年帰国、藤原歌劇団に2003年「ロメオとジュリエット」でデビュー後、「イル・カンピエッロ」「カルメン」「アドリアーナ・ルクヴルール」「ランスへの旅」「リゴレット」「どうぼうかさぎ」と活躍を続ける。その他新国立劇場やびわ湖ホールなどの公演にも出演。藤原歌劇団団員。



ラ・トラヴィアータ

野田ヒロ子(ソプラノ) ●ミミ

東京音楽大学卒業、同大学研究科在籍中、アメリカのインディアナ大学に留学。1996年から2002年までイタリアのヴェローナで研鑽を積む。98年東京国際声楽コンペティション優勝、02年日伊声楽コンクール優勝をはじめ入賞歴多数。98年のブダペスト国際声楽コンクール入賞により、同年ハンガリー国立劇場「ラ・ボエーム」のミミでオペラ・デビュー。2002年帰国。翌年1月、藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」のヴィオレッタで日本にオペラ・デビュー、好評を博す。その後、藤原歌劇団「ロメオとジュリエット」「イル・カンピエッロ」の他、サントリーホール「カルメン」、小澤征爾音楽塾「こうもり」などに出演。藤原歌劇団団員。



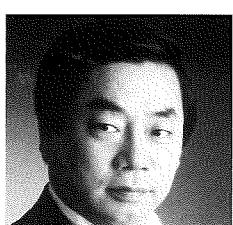
廣田美穂(ソプラノ) ●ミミ

昭和音楽大学卒業。ローマ・サンタ・チェチーリア国立音楽院修了、ディプロマを取得し助手を務めた。この間、ヴァチカン市国・ラテン語協会主催のオペラ「メデア」「ユディッタの勝利」に出演の他、ローマ・サンタ・チェチーリア国立音楽院のオーケストラとマーラーの交響曲第4番「大いなる喜びへの讃歌」でソリストとして共演。帰国後、昭和音楽大学公演「愛の妙薬」のジャンネット、新宿区民オペラ「仮面舞踏会」のアメリカで好評を博す。07年日伊声楽コンクール第1位、第76回日本音楽コンクール声楽部門第1位。今回が藤原歌劇団デビューで、今後の本格的活躍が期待されている。藤原歌劇団団員。



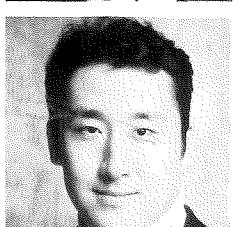
市原多朗(テノール) ●ロドルフォ

東京芸術大学卒業、同大学大学院修了。1984年、ザルツブルク音楽祭の「マクベス」に日本人歌手として初出演。パリ・オペラ座にも「マクベス」で初の日本人男声歌手としてデビューし、84~85年には同オペラ座の1シーズンの主役テノール最多出演記録を作るなど、世界各地の檜舞台で活躍。特にメトロポリタン歌劇場では「仮面舞踏会」「リゴレット」「ルチア」「トスカ」「ばらの騎士」で7シーズン主役を務めるなど、比類ないキャリアを築く。藤原歌劇団では1986年「仮面舞踏会」で大成功を収めて以来、「ルチア」「マクベス」「ラ・トラヴィアータ」「トスカ」「ラ・ボエーム」「シモン・ボッカネグラ」などに出演し絶賛を博している。



村上敏明(テノール) ●ロドルフォ

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第17期生修了。2001年からボローニャに留学。数々の国際コンクールで優勝し、国内でも主要コンクールを制覇。02年オルヴィエートのマンチネッリ劇場の「リゴレット」マントヴァ公爵でイタリア・デビュー。その後、フェラーラで「蝶々夫人」、ボローニャで演奏会形式「イル・トロヴァトーレ」などに出演。藤原歌劇団で、05年「ラ・トラヴィアータ」でアルフレードに抜擢されて成功を収めて以来、「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」に主演し絶賛を博している。07年はNHKニューイヤー・オペラコンサートに初出演。イタリア・オペラを主軸とし、輝きと張りのある歌唱で賞賛されている。藤原歌劇団団員。



ラ・ボエーム

今回の「ラ・トラヴィアータ」でヴィオレッタを演じるのは、イタリアの新鋭ダニエラ・ブルーエラと、日本を代表するヴィオレッタ歌いの出口正子の二人。公演に向けて、この役に対するそれぞれの思いをうかがいました。



「ラ・トラヴィアータ」はどんなオペラ？

この作品は、愛を通して自分の過去をあがなう身を持ち崩した女が主テーマですが、個人的感情と社会的慣習とのあつき、病と死など、多様なテーマが内在し、衝撃的なできごとを通して、演奏者と聴衆を引き込む普遍性を持った作品です。

これまでの経験で得たヴィオレッタ観は？

初めて全曲を歌ったのはベルリンのコンツェルトハウスでの演奏会形式で、その後舞台でも演じています。ヴィオレッタは、

interview

ダニエラ・ブルーエラ（ヴィオレッタ） 女優としての挑戦が必要です

陰影に富み、深く豊かな高潔さと大いなる愛を持つ女性です。そして彼女の内面では強い精神力と悲しいほどの脆さとが共存しています。この役を演じるには、歌手としてだけではなく、むしろ女優として果敢に挑まなければなりません。そしてそれがとても魅力です。

たとえば第1幕の長大なアリアでは、本来楽譜に書かれてもいない最後のハイエスだけに全力を傾けるのではなく、音楽で表された「今この時を楽しめ」という、浅はかさや軽さといった表面的な個性を、最後まで徹底して描くことを心がけるべきでしょう。しかし同時に、主人公に本質的に内在するすべての悲劇も考慮に入れておかねばなりません。それはヴィオレッタが経験する精神浄化作用のうちにある悲劇性、つまり愛する能力があることを彼女自身が十分に自覚してい

るということです。

最近の仕事とこれからのご予定は？

昨シーズンは精力的に幅広い役柄をこなした1年でした。「愛の妙薬」、シューマン「ゲーテの『ファウスト』からの情景」、「リゴレット」、またクララ・シューマンの生涯を題材とした公演でイタリア国内をツアしました。今後の予定には、ハイドン「アルミーダ」、ドニゼッティ「連隊の娘」、「カルメン」などがあります。

日本のファンへひとこと。

私が初めて日本を訪れたのは1992年ですが、日本で演奏するたびに、並外れた温かさと熱意を感じます。日本の皆さんには作品をよく理解しておられると同時に、音楽（演奏）だけでなくアーティストにも声援を送ってくださいます。そのような素晴らしい感動を再び皆さんと共有できるように願っています。

interview

出口正子（ヴィオレッタ） 歌うたびに新しい発見があります

一番印象に残る「ラ・トラヴィアータ」は？

やはり最初に歌った1982年のクレモナの公演ですね。突然の代役で、リッチャレッリとダブルキャストでした。クレモナはミラノからも近いですし、うるさがたのお客さんも多いのですが、無名の日本人がいきなり出ているのに先入観なく温かい拍手をくれるイタリアの聴衆に感動しました。また、ヴィオレッタという役が、技術的にも音楽的にも非常に難しくて、基礎から勉強し直さなければならないなとあらためて考えさせてくれるきっかけになった公演もあります。

出口さんにとってヴィオレッタとは？

学生の頃から、いつかは全曲を歌いたいと思っていました。でも、各幕で声のキャラクターも異なるので、全幕を通して歌うのはとても難しい役です。特にイタリアでは聴衆も非常によく知っているオペラ

ですから、彼らに納得してもらえるレベルで演じるのは大変ですよね。私の場合はそれに気づく前にいきなり歌うことになってしまったので、そうした難しさもあとからわかりました。歌は身体が楽器ですから、勉強しながら年齢を重ねて、声が育っていくのを待つことも大切だと思います。

役作りで心がけていることは？

このオペラに限らず、私は楽譜にすべて書かれていると思います。ですから技術的なことに加えて、常に楽譜を読み込んでいくことが役作りにも重要なことだと思います。しかも歌うたびに今まで気がついていなかったことが見えてくるんです。たとえばあるひとつの言葉の表現に対するさまざまな可能性を毎回発見しますし、オーケストラだけの部分に描かれているヴィオレッタの心情なども、何度も読み直していかなければならぬと



思います。その意味では、やればやるほどわからなくなるという部分もあるんですよ(笑)。

今回の公演への抱負を。

藤原では今回が6回目のヴィオレッタですが、何度も歌う機会を与えていただけたというのは、ひとつのレパートリーを深めていく貴重な経験です。歌うたびに発見する課題と向き合い、今まで以上の充実したものになるようにあらたな気持ちで臨みたいと思います。どうぞご期待ください。



野田ヒロ子



廣田美穂

ふたりのミミ

野田ヒロ子×廣田美穂

11月の「ラ・ボエーム」では二人の若いミミが登場します。藤原歌劇団の公演でもすでにおなじみの野田ヒロ子と、今回が藤原デビューとなる新人・廣田美穂。それぞれに思い出深い作品の「ラ・ボエーム」についてうかがいました。

廣田さんは今回が本格的なデビューです。

廣田 自分のキャリアをミミで始められるなんて、とても幸せです。学生時代はもちろんオペラ全曲ではありませんでしたが、コンクールや学校の卒業試験など、歌を始めた頃から勉強してきた役なので、音楽に対する思いやこれまでの経験などのすべてを表現できればと思っています。

今回のプロダクションは昨年の初演の時にずっと見学させていただいていたので、その意味でもこれが最初というのは幸運でした。

野田さんもオペラ・デビューがミミでしたね。
野田 はい。1998年にハンガリー国立歌劇場の公演でミミを歌ってデビューしました。ブダペスト国際声楽コンクールの入賞者による公演だったのですが、コンクールそのものがこのオペラの上演を目的のひとつとしたものだったので、予選から本選と、とにかく「ラ・ボエーム」をたくさん勉強しました。しかも日本で行われた予選の際には、指揮者や演出家の方たちから、オペラの全般にわたって非常に細かく教えていただく機会もあったんです。その後数年間は同じプロダクションの提携公演でイタリアやドイツでも歌いましたし、非常に思い出深い作品です。今回、藤原で初めて歌わせていただけるのはとてもうれしいです。

これまで観た中で、印象に残る「ラ・ボエーム」の舞台は?

廣田 私はつい最近観た、新国立劇場の栗國淳さん演出の公演です。プッチーニの細かいト書きに忠実に、しかもわかりやすく、また華やかで。第2幕の舞台の動きなどもすごいですね。

野田 私の初めてオペラ体験はテレビの「ラ・ボエーム」で、それがオペラ歌手を志すきっかけとなりました。そして東京の音楽大学に入って、さあ本当の舞台を觀ようと最初に出かけたのが藤原の「ラ・ボエーム」だったんです。渡辺葉子さんがミミを歌われてました。もちろん渡辺さんは素晴らしいのですが、コッリーネを歌われた岡山廣幸先生も素晴らしくて、ミミが死ぬ前にコッリーネのアリアで泣きました。

ミミの女性像や役の魅力、難しさはどんなところですか?

廣田 ミミは普通の女の子だと思うんです。ロドルフォとの出会いが彼女の策略だったとしても、学校で憧れの先輩が一人いるところへ寄っていくようなものじゃないですか。女性ならみんな経験したことのある、そんな思いをもった女の子だという気がします。そういう姿が自然に出せればいいのですが…。

野田 声域的なことですが、ミミは音域がわ

りに低いので、私には合っているんです。

廣田 たしかに、女性らしい自然な声で歌える音域ですよね。ただ、はかなさと女性の強さが音楽の中にあると思うので、そこが難しいと思います。

野田 テクニックで聴かせるというよりは表現力が求められますね。声を張りあげるところよりも、普通の会話の部分というか、たとえば最後のシーンで「泣いているの?」と聞くところとか、さりげない一言をどういう表現で聴かせるかが難しいと思います。

廣田 あ! 私がまさに自分の課題だと思っているのはそういう部分です。ちょっとしたニュアンスでかなり表現が変わりますものね。

野田 ね? ほんの一言だから短くて難しいし。私が一番恥ずかしいのが第1幕の最後の二重唱で、ロドルフォに「部屋に戻ってからは?」と言われて「Curioso!」と言うところ…。

廣田 あ、わかります!(笑)

野田 とにかく素晴らしいオペラですよね。大好きです。最初の音楽の出だしを聴くだけでぞくぞくします。「冷たき手」とかメロディも素敵だし、四重唱などアンサンブルもすごい。

廣田 登場人物の誰かしらに自分を投影して観ることができるのも、人気の理由のひとつではないでしょうか。

ファンの方々に抱負をひとことずつ。

廣田 私は本当にデビューですからとにかく精一杯やらせていただきます。その気持ちが伝わればうれしいです。

野田 私がアメリカ留学していた頃、市原さんの出るMETの公演は人気があってなかなかチケットが買えず、ポスターでお名前だけ見ていた思い出があります。その市原さんと共に演できて光栄です。初めて観たオペラもありますし、初心に戻るというか、歌う喜びをもって、ミミの可愛さ、若々しさを表現していきたいと思っています。



「ラ・ボエーム」2007年1月の公演から（第3幕）

2008年度 新入団者 (藤原歌劇団準団員)



平成20年度 海外留学者情報



廣田美穂 (ソプラノ) 藤原歌劇団団員 研修地:ローマ
文化庁新進芸術家海外留学制度研修員(1年間)

かつての留学から帰国して3年、演奏会や後進の指導など様々な経験をさせていただいた事により、足りない事や磨きをかけるべき事が浮き彫りになってきました。前回の留学でやり足らない事がまだまだあり、念願かなっての今回の研修。この1年間で更に私自身の声、表現を発展させレパートリーを拡げる努力をし、有意義な勉強をしてまいります。



二渡加津子 (ソプラノ) 藤原歌劇団団員 研修地:ミラノ
文化庁新進芸術家海外留学制度研修員(3ヶ月)

お世話になった先生方、ご尽力くださった事務局の方々に、心よりお礼申し上げます。3ヶ月という期間ではありますが、イタリアを、イタリア・オペラを、観・聴き・感じ・肌身に染み込ませ、そして自分の課題をより多くこなせる様に、充実した日々を送りたいと思います。この様な機会を与えて頂きました事に、感謝申し上げます。

リサイタル・マネジメント (6~12月)

中村 靖&金子裕美ジョイント・リサイタル (主催:中村 靖・金子裕美)
6月11日(水) みなとみらいホール(小)

高橋薫子 ソプラノ・リサイタル (主催:高橋薫子後援会)
6月27日(金) 日本大学カザルスホール

鶴川太郎 バリトン・リサイタル (主催:鶴川太郎)
8月24日(日) 東京文化会館小ホール

田中純子 ソプラノ・リサイタル (主催:田中純子)
10月7日(火) 王子ホール

延安昭一テノール・リサイタル (主催:Quattro Tenori Belcantisti)
10月13日(月・祝) 浜離宮朝日ホール

鎌田滋子ソプラノ・リサイタル (主催:鎌田滋子)
11月15日(土) サントリーホール小ホール

大井範子ソプラノ・リサイタル (主催:大井範子)
12月7(日) サントリーホール小ホール

平成20年度 外部出演マネジメント オペラ&コンサート (2008年4月~2009年3月)

【平成20年度】

- 4月6日(日) **堀内康雄バリトンリサイタル**
出演●堀内康雄
会場●パルテノン多摩(小)
- 4月10日(木)、13日(日)、15日(火)、
18日(金)、20日(日) **新国立劇場公演「魔弾の射手」**
出演●妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラパレス
- 4月13日(日) **中鉢聰テノールリサイタル**
出演●中鉢聰
会場●綾瀬市文化会館大ホール
- 4月13日(日) **五郎部俊朗テノールリサイタル**
出演●五郎部俊朗
会場●海老名市文化会館大ホール
- 4月13日(日) **オペラ「ひかりのゆりかご」プレコンサート**
出演●大貴裕子 所谷直生
会場●岐阜サラマンカホール
- 4月19日(土) **五郎部俊朗テノールリサイタル**
出演●五郎部俊朗
会場●室蘭市文化センター
- 4月20日(日) **五郎部俊朗テノールリサイタル**
出演●五郎部俊朗
会場●札幌コンサートホールKITARA
- 4月24日(木) **地域創造 市町村長セミナーミニコンサート**
出演●菅家奈津子
会場●市町村アカデミー(千葉市)
- 5月1日(木) **日本演奏連盟クラシックフェスティバル第20回記念スペシャル・ガラ・コンサート**

- 出演●高橋薫子
会場●東京文化会館
- 5月2日(金) **東京交響楽団特別公演**
ちょっとセレブにクラシックのタベ
出演●中鉢聰
会場●サントリーホール大ホール
- 5月4日(日)、5日(祝) **2008丸の内エリアミニコンサート**
出演●高橋織子、大野 美沙
会場●丸ビル丸キューブ、新東京ビル、東京ビルTOKIA
- 5月5日(祝)、7日(水)、10日(土) **新国立劇場公演「軍人たち」**
出演●森山京子、小山陽二郎
会場●新国立劇場オペラパレス
- 5月9日(金)、10日(土) **日本フィルハーモニー交響楽団「カルミナ・ブランナ」**
出演●五郎部俊朗
会場●埼玉会館、横浜みなとみらいホール
- 5月10日(土) **「題名のない音楽会」収録**
出演●中鉢聰
会場●昭和女子大学人見記念講堂
- 5月10日(土) **いすみホール・オペラ「ラヌスへの旅」**
出演●佐藤美枝子、久保田真澄、折江忠道、牧野正人
会場●いすみホール
- 5月17日(土) **北豊島学園スクールコンサート**
出演●及川 貢、藤原歌劇団合唱部
会場●荒川区民会館
- 5月17日(土) **中央区母子寡婦会のための**
アウトリーチコンサート

- 出演●菅家 奈津子
会場●中央区役所
- 5月23日(金)、24日(土) **長崎市アウトリーチコンサート**
出演●村上敏明
会場●長崎市内
- 5月24日(土) **川崎百合ヶ丘ロータリークラブ創立30周年記念オペラ「椿姫」よりハイライトコンサート**
出演●出口正子、折江忠道、藤原歌劇団合唱部、浅野菜生子
会場●テアトロ ジーロ ショウワ
- 5月24日(土)、25日(日) **オペラ「マーマレイド・タウンとバールの森」**
出演●持木 弘、中村 靖
会場●新国立劇場小劇場
- 5月28日(水) **浜離宮オペラ・サロンコンサート**
「オペラに恋して」
出演●郡愛子、佐藤ひさら、高橋薫子
会場●浜離宮朝日ホール
- 5月28日(水)、29日(木) **北九州芸術劇場公演「椿姫」**
出演●村上敏明
会場●北九州市内小学校ほか
- 6月5日(木)、8日(日)、11日(水)、14日(土)、
17日(火) **新国立劇場公演「椿姫」**
出演●東原貞彦
会場●新国立劇場オペラパレス
- 6月7日(土) **珠玉の名曲 オペラアリア集**
東京室内管弦楽団
出演●中鉢 聰
- 6月18日(水) **会場●なかのZERO大ホール**
- 6月18日(水) **中鉢 聰テノールリサイタル**

- 出演●中鉢 聰
会場●川崎市多摩市民館
- 6月22日(日) **合唱物語「わたしの青い鳥」**
出演●大森智子
会場●北九州芸術劇場
- 6月24日(火)、26日(木) **浜離宮ランチタイムコンサート**
出演●中鉢聰
会場●浜離宮朝日ホール
- 6月27日(金)、28日(土)、29日(日) **仙台駅 杜の都コンサート**
出演●大貴裕子、沢崎恵美、小山陽二郎、所谷直生、日本オペラ協会合唱団
会場●仙台駅構内
- 6月28日(土) **ニューフィル千葉コンサート**
出演●廣田美穂
会場●千葉県文化会館
- 6月28日(土) **中鉢 聰テノールリサイタル**
出演●中鉢 聰
会場●長野県安曇野コンサートホール
- 7月2日(水) **中鉢 聰テノールリサイタル**
出演●中鉢 聰
会場●秩父宮記念市民会館
- 7月5日(土) **中鉢 聰テノールリサイタル**
出演●中鉢 聰
会場●松戸フリューゲルザール
- 7月5日(日) **五郎部俊朗テノールリサイタル**
出演●五郎部俊朗
会場●東京文化会館(小)
- 7月11日(金)~18日(金) **新国立劇場オペラ鑑賞教室公演「椿姫」**

出演●野田ヒロ子、村上敏明、牧野正人、
谷友博、東原貞彦、久保田真澄
会場●新国立劇場オペラパレス
■7月12日(土)
中鉢 智ノールリサイタル
出演●中鉢 智
会場●雄勝文化会館
■7月12日(土)
第一生命ホールオープンハウス
出演●菅家奈津子
会場●第一生命ホール
■7月19日(土)、21日(祝)
びわ湖の夏・オペラビエンナーレ
「フィガロの結婚」
出演●柴山昌宣
会場●びわ湖ホール
■7月25日(金)
「ラ・トラヴィアータ」レクチャーコンサート
出演●党 静子、川久保博史、須藤慎吾
会場●立川市民会館(小)
■7月26日(土)
ヴェルディ「レクイエム」
出演●中鉢 智
会場●サンタリーホール(大)
■7月26日(土)
セントラル愛知「椿姫」ハイライト
出演●小山陽二郎
会場●愛知県芸術劇場コンサートホール
■7月31日(木)
オペラ・アリアのタベ
出演●堀内康雄
会場●トッパンホール
■7月31日(木)、8月2日(土)、3日(日)、5日(火)
佐渡裕ヤングピープルズコンサート
出演●中鉢 智
会場●東京オペラシティ、ザ・シンフォニーホール、京都コンサートホール、兵庫県立芸術文化センター
■8月3日(日)
ソニー キッズコンサート
出演●大森智子
会場●フィリアホール
■8月3日(日)
野田ヒロ子 コンサート
出演●野田ヒロ子
会場●ホテルニューオータニ幕張
■8月6日(水)
中鉢 智ノールコンサート
出演●中鉢 智
会場●エボックながはら
■8月17日(日)
新日本フィルハーモニー交響楽団
「スマーコンサート」
出演●村上敏明
会場●すみだトリフォニーホール
■8月23日(土)
フレッシュ名曲コンサート
出演●佐藤亜希子、村上敏明
会場●瑞穂ピューパークスカイホール
■8月31日(日)
中鉢 智ノールコンサート
出演●中鉢 智
会場●宗次ホール
■9月6日(土)
東京ユニアーバーサル・フィルハーモニー管弦楽団定期 ヴェルディ「レクイエム」
出演●中鉢 智
会場●東京芸術劇場(大)

■9月7日(日)
びわ湖ホール10周年記念ガラコンサート
出演●堀内康雄
会場●びわ湖ホール
■9月10日(水)
宝くじランチタイムコンサート
出演●中鉢 智
会場●宝くじドリーム館
■9月14日(日)、15日(祝)
オーケストラ・アンサンブル金沢「第九」
出演●中鉢 智
会場●石川県立音楽堂
■9月21日(日)、23日(祝)
愛知県文化振興事業団公演
「ファルスタッフ」
出演●折江忠道、堀内康雄、柴山昌宣、佐藤美枝子、大澤一彰
会場●愛知県芸術劇場大ホール
■9月21日(日)、23日(祝)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
「トリスタンヒツルデ」
出演●須藤慎吾
会場●ティアラ江東
■9月23日(祝)
富山市民文化事業団公演「ラ・ボエーム」
出演●森口賢二、久保田真澄、藤原歌劇団合唱部
唱部
会場●富山オーパードホール
■9月24日(水)~27日(土)
地域創造 秋田市 アウトリーチとコンサート
出演●中鉢 智
会場●秋田市文化会館他
■10月1日(水)、4日(土)、7日(火)、10日(金)、
13日(祝)
新国立劇場公演「トゥーランドット」
出演●妻屋秀和、五郎部俊朗
会場●新国立劇場オペラパレス
■10月4日(土)
東京室内歌劇場公演「秘密の結婚」
出演●出口正子
会場●東京芸術劇場中劇場
■10月5日(日)
トヨタコミュニティコンサート「グレの歌」
出演●水口 智、佐藤ひさら、向野由美子、
東原貞彦、小山陽二郎
会場●すみだトリフォニーホール
■10月5日(日)
大阪シンフォニカーコンサート
出演●中鉢 智
会場●彦根市民プラザ
■10月9日(木)
岡山国際音楽祭スペシャルコンサート
中鉢 智ノールリサイタル
出演●中鉢 智
会場●岡山市民会館
■10月11日(土)、13日(祝)
せんたいクラシックフェスティバル
ジョイントコンサート&第九
出演●中鉢 智
会場●イズミティ21
■10月16日(木)
徳永二男の魅せるクラシック
出演●中鉢 智
会場●ハーモニーホールふくい
■10月18日(土)
自黒区民まつり
出演●五十嵐喜芳、五十嵐麻利江ほか
会場●目黒バーシモンホール

■10月23日(木)、25日(土)
北とびあ国際音楽祭2008「騎士オルランド」
出演●高橋薫子
会場●北とびあ さくらホール
■10月24日(金)
秋のクラシックコンサート「椿姫」ハイライト
出演●村上敏明
会場●東京文化会館(小)
■10月25日(土)
合唱団「鶯」ヴェルディ「レクイエム」
出演●牧野正人
会場●東京芸術劇場大ホール
■10月25日(土)、28日(火)、31日(金)、
11月3日(祝)、6日(木)
新国立劇場公演「リゴレット」
出演●森山京子
会場●新国立劇場オペラパレス
■10月26日(日)
「ラ・ボエーム」レクチャーコンサート
出演●未定
会場●昭和音楽大学ゆりホール
■10月26日(日)、29日(水)、11月1日(土)
ウイーン国立歌劇場2008年日本公演
オペラ「フィデリオ」
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●神奈川県民ホール(大)
■11月1日(土)
茨城国民文化祭 野外オペラ「アイーダ」
出演●立野至美、堀内康雄、鹿野章人、
所谷直生
会場●日立市駅前広場
■11月1日(土)
湘南フィルハーモニー合唱団
「ヴォルガーグレクイエム」
出演●高橋薫子、森山京子
会場●横浜みなとみらいホール
■11月2日(日)3日(祝)
岐阜県民オペラ「ひかりのゆりかご」
出演●大賀裕子、中鉢 智
会場●長良川国際会議場
■11月3日(祝)
豊田市コンサートホール ガラコンサート
出演●高橋薫子
会場●豊田市コンサートホール
■11月5日(水)
ホセ・カラーラス ステージ・デビュー50周年
記念公演 モーツアルト「レクイエム」
出演●久保田真澄、藤原歌劇団合唱部
会場●オーチャードホール
■11月7日(金)~11日(火)
日生劇場「魔笛」
出演●折河宏治、鶴川勝也、川久保博史、
曾我雄一
会場●日生劇場
■11月12日(水)~16日(日)
地域創造 アクティビティとコンサート
出演●足崎恵美
会場●新潟県新津美術館
■11月13日(木)または14日(金)
新国立劇場 関西鑑賞公演「蝶々夫人」
出演●岡崎他加子、松浦 健
会場●尼崎アルカイックホール
■11月15日(土)
東京交響楽団コンサート
出演●森山京子
会場●市川市文化会館
■11月24日(祝)
五郎部俊朗ノールコンサート

出演●五郎部俊朗
会場●加東市
■12月5日(金)、7日(日)、9日(火)、11日(木)、
13日(土)、15日(月)
新国立劇場公演「ドン・ジョヴァンニ」
出演●高橋薫子
会場●新国立劇場オペラパレス
■12月6日(土)
クラシカ葉山 クリスマスコンサート
「椿姫」ハイライト
出演●野田ヒロ子、小山陽二郎、折江忠道
会場●クラシカ葉山
■12月7日(日)
二人でコンサート V
出演●佐藤美枝子ほか
会場●第一生命ホール
■12月7日(日)、23日(祝)、25日(木)
東京交響楽団「第九」
出演●若林 勉
会場●坂戸、焼津、富山
■12月8日(月)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
オネゲル「クリスマス・オラトリオ」
出演●東原貞彦
会場●ティアラ江東
■12月10日(水)
セントラル愛知「第九」
出演●小山陽二郎
会場●愛知県芸術劇場コンサートホール
■12月13日(土)
中鉢 智ノールコンサート
出演●中鉢 智
会場●茂原市民会館
■12月14日(日)
広島交響楽団「第九」
出演●向野由美子
会場●シンフォニア岩国
■12月20日(土)、21日(日)、22日(月)、
23日(祝)、25日(木)、26日(金)
読売日本交響楽団「第九」
出演●中鉢 智
会場●東京芸術劇場、サンタリーホール、
横浜みなとみらいホールほか
■12月21日(日)
神奈川フィルハーモニー管弦楽団「第九」
出演●持木 弘、牧野正人
会場●神奈川県民ホール
■12月21日(日)
宮崎クリスマスオルガンコンサート
出演●川越塔子
会場●宮崎県立芸術劇場
■12月31日(日)
りゅーとびあジルベスターコンサート
出演●高橋薫子
会場●りゅーとびあ
【平成21年】
■1月12日(祝)、15日(木)、18日(日)、
21日(水)、24日(土)
新国立劇場公演「蝶々夫人」
出演●松浦 健
会場●新国立劇場オペラパレス
■3月7日(土)、10日(火)、13日(金)、
15日(日)、18日(水)
新国立劇場公演「ラインの黄金」
出演●妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラパレス

制作受託オペラ

ジ・インペリアル オペラ

藤原歌劇団公演 「セビリアの理髪師」

2008年4月28日(月) 帝国ホテル・富士の間

指揮:佐藤正浩 演出:ダリオ・ボニッスイ

出演:ドミニク・モラレス、高橋薫子、森口賢二、柴山昌宣、若林勉、牧野真由美
河原忠之(ピアノ)

神奈川県民ホール主催オペラ

藤原歌劇団公演 「ラ・トラヴィアータ」

2008年6月1日(日) 神奈川県民ホール

指揮:大勝秀也 演出:ベッペ・デ・トマージ

出演:出口正子、ドミニク・モラレス、牧野正人 他

文化庁本物の舞台芸術体験事業

藤原歌劇団公演 「カルメン」ハイライト

指揮:須藤桂司 演出:今井伸昭

出演:森山京子／河野めぐみ、永澤三郎／角田和弘、家田紀子／竹村佳子、三浦克次／柿沼伸美、藤原歌劇団合唱部

[9/29]足立区立千寿常東小学校 [9/30]八王子市立元八王子中学校 [10/1]北杜市立明野中学校(山梨県) [10/2]南部町立万沢中学校(山梨県) [10/3]身延町立中富中学校(山梨県) [10/6]柏市立高田小学校 [10/7]船橋市立葉円台小学校 [10/8]市川市立柏井小学校 [10/9]八千代市立村上北小学校 [10/10]土浦市立斗利出小学校

横須賀市中学校芸術鑑賞会

日本オペラ協会公演 「夕鶴」(主催:横須賀市教育委員会)

2008年12月2日(火)、3日(水)、4日(木) よこすか芸術劇場

藤原歌劇団公演

ロッシーニ「どろぼうかささぎ」

2008年3月7日・8日・9日 東京文化会館
 指揮／アルベルト・ゼッダ 演出／ダヴィデ・リヴァーモア

**ロッシーニ上演の歴史に新たな一步を記した日本初演**

巨匠ゼッダを指揮に迎え、リヴァーモア演出のニュープロダクションで日本初演した「どろぼうかささぎ」は大成功を収め、改めてロッシーニの魅力に開眼したオペラファンも多く、ロッシーニ上演で定評ある藤原歌劇団ならではの意欲的な企画・公演として高く評価されました。

[公演評抜粹]

朝日新聞(3月17日夕刊)より「濃淡や緩急を自在に変える音楽を、絶妙の呼吸とテンポ感で鮮やかに描き分けたのは、ロッシーニ上演にこの人ありと言える指揮者のアルベルト・ゼッダ」

毎日新聞(3月21日夕刊)より「悪代官役・妻屋秀和の堂々たる存在が、第1幕の中だるみを引き締めた功績を高く評価したい」

読売新聞(3月11日夕刊)より「ジャンネット(シラグーザ)が、すでに登場の歌から、こまかい装飾音形でもみっちりと個々の音を響かせ『甘く新鮮な喜び』をもたらしてくれる。さらにニネット(フォルテ)もアンサンブルのなかで存在感を主張したし、娘に横恋慕するゴッタルド(妻屋)の悪代官ぶりも堂に入ったものだ」



日本オペラ協会公演

水野修孝「美女と野獣」

2008年1月11日・12日・13日

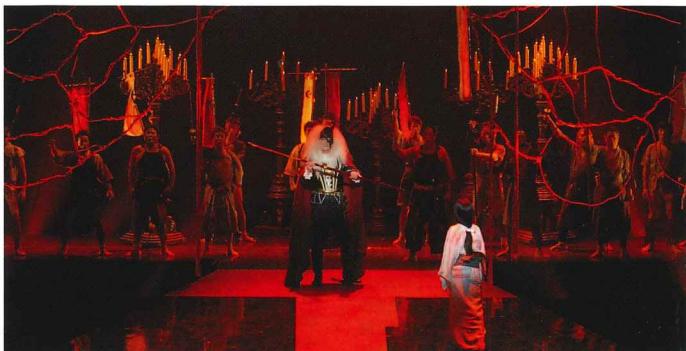
新国立劇場中劇場
 指揮／三石精一 演出／岩田達宗

エンターテインメント作品として喝采浴びた“日本のオペラ”

3回目の上演となる今回、気鋭の岩田達宗を迎えた新制作した「美女と野獣」は、重鎮・三石精一の指揮により多ジャンルを取り込んだ音楽の魅力が存分に發揮され、舞台も演出に応えた出演者全員の熱演で幅広い観客層が楽しめるモダンなものとなり、喝采を浴びました。

[公演評抜粹]

東京新聞(1月19日夕刊)より「岩田の演出は…シンプルではあるが、オペラの本質をくっきりと浮き彫りにした点で注目される。メフィスト一味のグロテスクな衣裳と振り付けもオペラの流れにメリハリを与えていた。…聞きやすい日本語歌唱の水準が保たれていたと言える」

**財団法人日本オペラ振興会 鑑賞会員 募集中! JOFアミーチ・デル・テアトロ・リリコ**

日本オペラ振興会が主催するすべてのオペラ公演とコンサートが鑑賞でき、しかもさまざまな特典もある大変お得な日本オペラ振興会の年間鑑賞会員（JOFアミーチ会員）を募集しています。入会は隨時可能で、会員資格の有効期間は1年間です。

入会申込受付：隨時（「ラ・トラヴィアータ」からご入会が可能です）

年会費：特別会員 1口=10万円 A会員 1口=7万円

【特別会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につき特別席2枚)

【A会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につきA席2枚)

〈会員特典〉①オペラ公演のGP見学

②バックステージ見学

③プログラム券進呈

④所属歌手との交流会(有料)

⑤日本オペラ振興会会報JOFニュースの送付

⑥主催オペラ公演1割引き(1公演につき2枚まで)

詳細のお問い合わせ・資料のご請求は日本オペラ振興会チケットセンターへ

【今後の日本オペラ振興会主催オペラ公演予定】

[藤原歌劇団]ヴェルディ作曲「ラ・トラヴィアータ」*出演の詳細は2ページ目参照

平成20年8月26日(火)・27日(水) テアトロ ジーリオ ショウワ

9月3日(水)・4日(木) 東京文化会館

[藤原歌劇団]プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」*出演の詳細は2ページ目参照

平成20年11月28日(金)・29日(土)・30日(日) テアトロ ジーリオ ショウワ

[藤原歌劇団]ポンキエリ作曲「ラ・ジョコンダ」

指揮：菊池彦典 演出：岩田達宗

出演：エリザベート・マース／下原千恵子、チョン・イグン／笛田博昭、

堀内康雄／牧野正人、エレナ・カッシアン／森山京子 ほか

平成21年1月31日(土)・2月1日(日)・2日(月) 東京文化会館

[日本オペラ協会創立50周年記念公演]

水野修孝作曲「天守物語」

指揮：星出 豊 演出：栗山昌良

平成21年2月21日(金)・22日(土) オーチャードホール

[藤原歌劇団]ドニゼッティ作曲「愛の妙薬」

平成21年6月12日(金)・13日(土)・14日(日) 東京文化会館



事務所移転のためチケットセンターの電話番号が変わりました。新しい番号は下記のとおりです。

公演その他詳しい問い合わせ・資料のご請求 日本オペラ振興会チケットセンター ☎03-6407-4333